

下曾根金三郎 西洋砲術家。師範として国防軍事に関わり、江川太郎左衛門と対照的に貴族風で、甘納豆も創製した。

しもねぎんざぶろう

いざな報復・1806 = 後に長崎奉行・江戸町奉行として令名を馳せる_筒井政憲の第二子に生まれる。

・ ・ ・ ・ ・ 1815 = 9歳 :

水野忠成老中1818 = 12歳 :

シノト 山崎滝塾1824 = 18歳 :

旗本下曾根家の養子となり、

シノト 山崎追放・1829 = 23歳 : 小十郎信親のあとを継ぐ。

富嶽三十六景1831 = 25歳 : 西丸小性組に取り立てられ、

天保大飢饉始1833 = 27歳 :

滑稽+人情本 1835 = 29歳 : 渡辺崋山の門人となり、

大塩平八郎乱1837 = 31歳 :

蛮社の獄・ ・ 1839 = 33歳 : 蛮社の獄では危うく連累を免れ、

天保改革始・1841 = 35歳 : 幕命を受けて、葦山代官江川太郎左衛門とともに、長崎から上府中の高島秋帆について西洋砲術を学び、

天保改革弾圧1842 = 36歳 : 高島流砲術指南を許され、洋兵塾を開いて盛況、

阿部正弘首座1845 = 39歳 :

著書に「経済弁」「下曾根上書」「高嶋流砲皆伝書」および「鈴林必携」(上田亮章著・下曾根関)がある。

尊徳報徳論・1851 = 45歳 :

万次郎帰国・1852 = 46歳 : 二ノ丸留守居となるが、

ペリー来航・1853 = 47歳 : ペリー来航にあたって国書受理の警固銃隊を指揮し、

開国開港・ ・ 1854 = 48歳 : この年、実父筒井政憲が露国使節ブチャーチンに応接した。

安政大地震・1855 = 49歳 : 国防強化策により、先手鉄砲頭に転じ、

松下村塾・ ・ 1856 = 50歳 : 講武所が開設されると砲術師範を兼ねた。

'葦山様(江川太郎左衛門)とは大違、実用嫌の花麗好き'という評もあった。菓子をつくることを好み、甘納豆はその創製という。

桜田門外変・1860 = 54歳 :

遣欧使節・ ・ 1861 = 55歳 : 西丸留守居格となり諸大夫に列して甲斐守を称した。

8月18日政変 1863 = 57歳 : 歩兵奉行に転じるが、

禁門の変・ ・ 1864 = 58歳 : 歩兵奉行を解かれて、砲術師範に戻る。

大政奉還・ ・ 1867 = 61歳 : 陸軍所の修行人教授方頭取となって、幕府の軍事改革に参画したが、

明治維新・ ・ 1868 = 62歳 : 明治維新となり御役御免となり、

戊辰戦争終・1869 = 63歳 :

芝赤羽にあった下曾根の預調練所(二千八百坪)は、外国人旅宿の場所となった(赤羽応接所)。

佐賀の乱・ ・ 1874 = 68歳 : 没した。